

獲信見敬大慶喜 ～ 「信を獲る」 とは… ～

◎なぜ親鸞聖人は正信偈を作ったのか

釈尊	… 無量寿経	
	嘆仏偈（四言八十句）	阿難が釈尊の威容を讃嘆する歌
	三誓偈（五言四十四句）	法蔵菩薩が重ねて本願を誓う歌
	東方偈（五言百二十句）	極楽浄土を諸仏が褒め称える歌
天親菩薩	… 願生偈（五言九十六句）	浄土の莊嚴を讃え往生を願う歌
曇鸞大師	… 讚阿弥陀仏偈（七言三百五十句）	→ 和讃になっている
善導大師	… 往生礼賛偈（五～七言百六十句）	浄土の莊嚴を讃える歌
	勸衆偈（五言二十八句）	衆生に三宝帰依を勧める歌

・私たちが何をすべきか、なぜそうすべきか、そうするとどうなるか、問題点は何か
そして誰がそれを大事だと伝えてきたかが正信偈にはうたわれています

◎正信偈の構造

帰命無量寿如来～南無不可思議光	南無阿弥陀仏（かの仏の願に順ずる）
依経段	
法蔵菩薩因位時～重誓名声聞十方	南無阿弥陀仏のいわれ（無量寿経）
普放無量無辺光～一切群生蒙光照	弥陀の十二光
本願名号正定業～必至滅度願成就	すくい構造（17願・18願・11願）
如来所以興出世～応信如来如実言	お釈迦さまの出世本懐
能発一念喜愛心～如衆水入海一味	信心を得るとはどういうことか
撰取心光常照護～即横超截五悪趣	信心を得たらどんな心持か
一切善悪凡夫人～是人名分陀利華	信心を得た人はどんな存在か
弥陀仏本願念仏～難中之難無過斯	結誠
依釈段	
印度西天之論家～必以信心為能入	七高僧の教えと浄土教を勧めてきた歴史
弘経大士宗師等～唯可信斯高僧説	ただこの高僧の説を信ずべし

鏡御影・安城御影
の讃銘

今日のお話の裏テーマ

- 弥富の中学生の事件 いじめ？ = よしあしを判じる部分から始まる
- ・「いじめ」という、犯罪を意識しない言葉がよくない
 - ・誰かを標的にすることで、集団の結束が良くなるという集団心理
 - ・自分の中にあつて嫌悪の対象となる性格的な部分に対し、特別な苛立ちを感じる

◎信を獲て見て敬い大^{おおき}に慶喜すれば、即ち横^{おう}に五^ご悪^{あく}趣^{しゆ}を^{ちよう}超^{ぜつ}截^す

「法を聞いて能く忘れず、見て敬い大いに慶びを得れば、即ち我が善^{しん}親^ぬ友なり」

無量寿経下巻 東方偈

「必ず超^き絶し去ることを得て安養国に往生し、横^きに五^き悪^き趣^きを^き截^きる」

無量寿経下巻

cf. 慶ぶ … 「慶」ともうし候ことは、他力の信心を得て、往生^{いちじょう}を一定して、むずとよろこぶところを申すなり 御消息集

cf. 五悪趣 … 「地獄、餓鬼、畜生、人、天」 六道のうち五つの悪趣

◎一切^{ぜんまく}善^{ぜん}悪^{まく}の凡^{ぼん}夫人^{ぷじん}、如^{にょ}来^{らい}の弘^{くわ}誓^{ぜい}願^{げん}を聞^き信^{しん}すれば、仏^{ぶつ}は広^{くわ}大^{だい}勝^{しょう}解^げの者^{ひと}と^{のたま}言^いえり。

「若^もし善^{なん}男^し子^{にょ}善^{にょ}女^{にん}人^{にん}等^らは、彼^かの法^{ほう}中^{ちゆう}に於^おいて、広^{くわ}大^{だい}勝^{しょう}解^げ者^{しや}なり」

如来会（無量寿経異本）

cf. 他力の信心うるひとを、うやまいおおきによろこべば、すなわちわが親友ぞと 教主世尊はほめたもう」

正像末和讃

◎是^ぜの^の人^{にん}を分^{ぶん}陀^だ利^り華^けと名^{なづ}く。

「若^もし念^{ねん}仏^{ぶつ}する^しひとは、まさに知るべし。この人はこれ人^{にん}中^{ちゆう}の分^{ぶん}陀^だ利^り華^けなり」

観無量寿経